

校 訓

自主 創造 親愛

校章の由来



本校の校章は、明治 39 年開校以来 6 回の変遷を経ている。現在の校章は、昭和 24 年 4 月、福岡県立小倉園芸高等学校と紫水高等女学校が合併して、昭和 24 年 5 月 1 日、福岡県立小倉南高等学校と改称し、新発足したのにもなって制定された。

小倉南高等学校の文字を図案化しており、中央に「高」の字を、その下地に小倉の「小」の字と南の「M」を上下から組合せ、更に「小」と「M」の夫々の先端を円を八等分するよう配分して、将来八方に無限に拡大発展して行くことを表現している。

なお、この図案の中の「小」と「M」の文字の組合せは、南十字星の輝きを表し、前途多難な暗夜を航行する不安な舟人に目標と希望を与える星に、多難な人生航路に向おうとする若人に、希望と指針を与えることを念願としている。